

防災安全講演会 災害ボランティアセミナー

開催報告

令和2年1月25日（土）、島根県民会館

大会議室にて島根県と当協会主催による「防災安全講演会」災害ボランティアセミナーが開催されました。冒頭に主催者を代表して、島根県防災部防災危機管理課の小池課長と当協会の原田理事長が挨拶し、続いて減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表の浅野幸子氏による「地域防災力の質的向上のために」高齢者・障がい者・子ども・女性などの視点から」と題する基調講演と事例発表が行われました。

基調講演

13:45～14:45

地域防災力の質的向上のために
～高齢者・障がい者・子ども・女性などの視点から～

減災と男女共同参画 研修推進センター

浅野 幸子氏

女性や若者が男性とともにリーダーシップを積極的に発揮し、女性リーダーを通じて現場の要望を取りまとめもらうなど、男女共同参画・その他の多様な視点を取り入れた防災体制を確立することが重要であることを講演頂いた。



阪神・淡路大震災で学生ボランティアから国際協力NGOのスタッフとなり4年間従事。法政大学院修士課程修了（政策科学修士）。現在は減災と男女共同参画研修推進センター共同代表。内閣府の「避難所運営ガイドライン」（平成28年）、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」の策定委員や、自治体の防災会議委員などを務める。

事例発表①

14:55～15:25

みなさんができる災害ボランティア
～理想の支援体制について～

島根県立大学 総合政策学部 総合政策学科

4年生 家迫 秀和氏



高校1年生の時、東日本大震災で被害にあった宮城県南三陸町にボランティア参加し、その時が契機となり地域防災を

研究。理想の支援体制は、男性だけでなく、女性や高齢者も参加できる環境・支援体制をとることと、防災意識が大切であり、災害時には地域全体で取り組むことが重要であると事例報告を交えて話された。

事例発表②

15:25～15:55

災害ボランティアをきっかけとした
取り組み～災害時から平時への広がり～

社会福祉法人大田市社会福祉協議会

地域福祉課 主事 小谷 太喜氏

大田市の地震を契機に災害ボランティアに取り組んできており、現場の活動者として、災害ボランティアは平時と異なる状況であるが、平時の延長と考えられるような日ごろからの取り組みや繋がり循環の中にあるように取り組みを工夫し、よりよい地域にしていきたいと話された。

